

柔道スポーツ育成会蹴揚理事長(三沢)訪韓

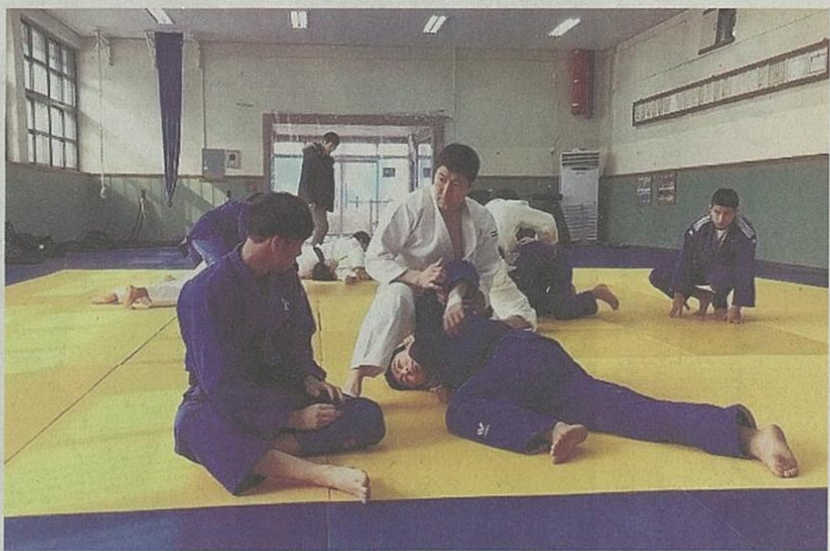
「未来の五輪選手」を指導

NPO法人柔道スポーツ育成会理事長で、三沢市出身の蹴揚将行(47)が、2月16〜24日に韓国へ出向き、韓国国内トップクラスの柔道選手を指導した。柔道の基本である礼節や、個々に応じた技術の指導を行い、「日韓間の柔道を通じた友好関係を強固にすることができた」と充実感を深めていた。

蹴揚さんは、午前が技術練習中心、午後は高校生や大学生との実践練習の中で修正点を確認するなどした。指導した生徒は、いずれも将来を有望視された選手だった。蹴揚さんは、「2020年東京五輪や25年青森国体(国民スポーツ大会)に力を入れていきたい」と話した。

蹴揚さんは、八戸学院大柔道部監督や東北医療福祉協同組合入部アドバイザーを務めるなど、柔道を通じて地域貢献にも携わっている。今回の経験を踏まえ、今後は「2020年東京五輪や25年青森国体(国民スポーツ大会)に力を入れていきたい」と話した。

(金濱千優希)



韓国で柔道を指導する蹴揚将行さん(中央)



蹴揚将行さん(中央)と指導を受けた韓国の柔道選手